

《沖縄協同病院の理念》

- 患者様に信頼され、質の高い安全・安心な医療をめざします。
- 人権を尊重し、納得のいく説明と同意、情報開示を提供します。
- 地域と連携し、総合的な医療・福祉・介護の提供に努めます。

はいさい

沖縄協同病院・病院広報委員会

豊見城市字真玉橋 593 番地の 1

TEL.(098)850-7951

http://oki-kyo.jp

E-mail:okikyo02@crocus.ocn.ne.jp

発行責任者 西銘圭蔵

新病院建設の進捗状況③①

(新病院建設工程について)

8月20日時点の新病院工事状況は、西側の一部を除き、躯体工事が3階まで完了し4階の型枠組が行われています。1階部分については、窓枠工事や壁下地工事、天井内配管工事が行われています。

西側工区は、これまで作業スペースとして活用されていましたが、8月22日より工事が開始となりました。躯体工事は予定より1ヶ月前倒しの状況です。

9月以降の病棟工事は、5階から8階まで基本的に同じ造りなので、更にスピードアップが望めるそうです。



新沖縄協同病院開設準備会
新垣 司

辺野古勝利の力は

学び知り行動する

積み重ねで!

沖縄は照葉樹林と熱帯が複合した亜熱帯。地球が創造した宝。山原の森はヤンバルクイナ、海はジュゴンがシンボルだ。辺野古・大浦湾は生物多様性豊かな「厳正に保全すべきAランク」の自然、サンゴの博物館。沖縄防衛局と仲井真知事は環境アセス法を無視、2009年に埋め立て計画をもくろんだが、県民の道理ある闘いで2010年まで延した。

2010年は国際、国内、県内とも平和・環境・暮らしなど激動と変化の可能性をもった年になる。沖縄は名護市長選、参議院選、知事選挙の年だ。辺野古のアセスは準備書、評価書に入るが、国民が意見を出せるのは準備書の段階まで。平和・環境について、意見を書くために「学び、知り、伝え」行動しよう。

これまで県民が団結して座り込みを持続して負けた闘いはない。辺野古・高江とも根気と我慢、信頼の闘いが続く。共同、共闘の力をさらに強め必ず勝つ自信を共有しよう。



大浦湾のカクレクマノミ

ヘリ基地反対協共同代表
大西照雄

定年を迎えました 今、「旬」の時

この5月、定年を迎えました。定年という言葉につきまとう一抹のわびしさはなく、まさにハッピー・リタイヤです。これまで30年間、沖縄協同病院や那覇民主診療所でお世話になり、専門の心臓病を中心に診察を行ってききましたが、定年という区切りを迎えた今、「絵と食のある人生」に少しモードを変えてみるのもいいのではないかと考えています。

「干支シリーズ」はこれからも描き続けますのでお楽しみに。もちろん、心臓病以外にも日常診療の中から興味のあるテーマや課題がたくさん見つかりましたので、これもじっくり勉強していきたいと思っています。



髪もすっかり白くなり、視力も聴力も多少落ちましたが、気力は十分です。「旬」の時です。

皆様のこれまでの温かいご支援に感謝するとともに、これからもよろしくお願いいたします。

内科 上原和博

県内で6番目、 内科教育病院に認定される

2008年9月1日

2008年8月19日、郵便物を開封。

「貴病院を2008年9月1日から内科教育病院として認定する」。日本内科学会からの通知。県内では6番目になります。久しぶりに嬉しいできごとです。翌日には、臨床・研修学術支援センターの職員が医局に横断幕を貼りだしました。ちなみに、施設認定と指導医要件は左記のとおりです。維持するためには、病院として内科剖検を年間10体以上、内科学会(地方会を含む)で年間3演題以上の発表、5人の各指導医が5年で業績発表3篇以上が求められます。また、今後は指導医は総合内科専門医(現在3人)に限定される可能性があります。

●内科教育病院(2008年4月からの新基準)

1. 単独型もしくは管理型臨床研修病院の資格を満たす病院及び管理型臨床研修病院に準ずる病院
 2. 内科病床数が50床以上あること
 3. 内科剖検体数が10体以上あること
 4. ※CPCが年5症例以上定期的に開催されていること。実施回数(記載と簡略化した一覽表報告(5症例)及び実施時の資料(5症例)を添付すること
 5. ※内科指導医が5名以上で、全員が総合内科専門医であることが望ましい。(旧:そのうち内科専門医(認定内科医含む)が3名以上いること)
 6. 本会年次講演会、または地方会での発表が年3演題以上あること
- 教育病院は右記の1〜6の基準全てを満たさなければならぬ。従来通り、2年連続認定基準を満たさない病院は、認定保留、認定取消の対象となる。内科剖検体数が2年連続7〜9体の場合は認定保留の対象となる。

●指導医として申請できる条件は、過去5年間で臨床研究に関する業績発表3篇を有し、次記の(1)・(2)の項目いずれかに該当する者であるが(1)に該当することが望ましい。

- (1) 総合内科専門医の認定を受けている者
- (2) 認定内科医あるいは指定13学会の認定医(専門医で内科臨床経験7年以上の者)

院長 西銘圭蔵

院長の頭の中 その26

～ コミュニケーションの神髄 ～

●ある新聞のコラム

病院の看護師詰所にがん患者の付き添いをしている妻が毎日来て同じ事を聞く。「抗がん剤は効いているんですか」。看護師が毎回同じ説明を繰り返していた。あるとき、ある看護師がふと気づいて「毎日付き添いでご苦労ですね」と応えたら、ぼろぼろ涙を流して、二度と詰所に来なくなったという。

●実は私も二度ほど似たような経験がある。

20歳代の女性が、不安な面持ちであれこれ訴えてきた。他府県出身だったので、家族の話を聞いてみた。夫が自衛隊員で日中は一人になる、知り合いもないという。「淋しくて大変ですね」といった途端、大粒の涙がほほを濡らした。ややあって、気が晴れたのか診察室を後にした。

●私には孫が5人いるが、同学年になる3歳の男女がいる。女の子は自分の意思を達者な言葉で説明調に話す。男の子は早生まれなので意思表現が未熟であり、からだ全体で表現する事が多い。孫をみるとコミュニケーション方法が多彩に変化することが理解できるようになった。

●言葉を聞くのではなく、心を聴く。年を重ね、しみじみと響いてくる。

院長 西銘 圭蔵

はじめまして 社会福祉士です

今年の5月に入職しました。協同病院入職前は、有料老人ホームの相談員として2年間勤務していました。医療現場での仕事は初めてで、入職したての頃は不安でいっぱいでしたが、周囲のスタッフのアドバイスを受け、業務を通して色々な事を学びながら楽しく仕事をしています。



地域連携室は、地域の病院・医院・診療所(かかりつけ医)と協力し、患者様がより良い医療を受けていただけるようにサポートする部門です。

地域のかかりつけ医から患者様の紹介を受け、事前に治療経過等の情報を確認して予約を取り、患者様と医療機関の橋渡しを行っています。

また、地域医療機関から緊急を要する患者様の入院相談や受診調整があった場合、先方の連携室と連携を取り合い、患者様の診療情報交換を行い、迅速に診断、治療ができるように支援しています。

現在は、来年の新病院完成に向けて、日頃から地域医療機関とのネットワークづくりを行い、患者様へよりよい医療情報やサービスを提供できるようにがんばっているところです。

よろしくおねがいします。

地域連携室 我那覇香り



虹の箱とは患者さまの声を医療活動に反映させていくための投書箱です。

ご意見・ご要望

内科受付の職員が手でボールペンを回していたので、今後のためにも書かせてもらいます。私も含め、内科受付前にて30分程待たされて、他の方達も少しイライラしてきた頃だったので、ちょっと手があいたからといって、その癖は直したほうがいいと思います。

病院の顔として、スタッフの方々は自己啓発に励んでほしいです。

7月23日 内科受付

ご返事

ご指摘ありがとうございます。本人では気付かなかったちょっとした癖が、待っている患者様に不快な思いをさせてしまったことに改めて気付かされました。

これからは、患者様の気持ちになって考え、そして周囲に気配りするよう徹底したいと思っています。

内科外来師長 砂川淳子

かりゆし会 試食会がありました

私が2型糖尿病になって久しく、服薬治療をするようになって25年が経過し、年齢も70歳に達してしまいました。

うまいものは食べたい、楽はしたいと思うのが世の常で食欲を抑えるのは大変です。しかし元気で長生きしたいという思いは強く、毎日2単位(100g)のご飯と、うす味のおかず、1時間のウォーキングを続けて自己管理に努めております。

その中でもかりゆし会の活動は大へん有意義です。同病のよしみで会員同士は共通の話題が多くいろいろと教えたり教えあったり楽しい時間を過ごしております。8月2日は夏の料理の試食会でした。テーブルの上に並んだ料理をみてビックリです。数えてみると15種類もあり、大食いの私も全部を食べることは出来ませんでした。家に帰り、血糖を測ってみましたが上がっていませんでした。いかにヘルシーな料理が大切がよくわかりました。その中から冬瓜のエビあんかけ(エビをひき肉に変え)、ごぼうの梅煮、へちまのおひたしを家で作りました。患者会の活動もスタッフの皆さんのご苦労のおかげと感謝にたえません。願わくばより多くの糖尿病の方々がかりゆし会に入会し糖尿病ライフを楽しく過ごせたらと願うばかりです。



ひと
糖尿で足を切られし男をみて同病の吾は身のひきしまる

日々の血糖測りとウォーキング我が努めだと思ひて励む

かりゆし会会長 伊集 勝子

志喜屋の追い込み漁体験

8月17日(日)志喜屋の組合員の方々の指導のもとに、沖縄伝統の漁法「追い込み漁」を体験させていただきました。追い込み漁とは、海に敷いた大きな網に大勢で魚を追い込む漁法で、網の張り方や追い込むタイミングなどで捕れる魚の量が変わります。晴天に恵まれ、いざボートで青い海へ・・・。

海は透明度抜群で色とりどりの魚達がめんそーれめんそーれ。海人の組合員さんが網を張り、皆で追い込みをかけましたが、追い込んでいる時は余り魚が見られず、漁になっているか不安でした。しかし、網に近づくにつれて、たくさんの魚が網にかかっている光景に、大歓声、大感動でした。捕れた魚を海人の皆様や、料理上手のスタッフが港でさばき、宴会が始まりました。このまま時間が止まり、いつまでもいたいような、そんな心地よい宴会でした。昔はたくさんいた魚があまり捕れなくなったと組合員さんは言っていました。海への影響を最小限にするために、小さなものやたくさん捕れたものはすべて逃がしていました。いつまでもこの美ら海を残してほしいと心から願うすばらしい一時となりました。志喜屋組合員の海人様、ありがとうございました。



薬局 笠原哲

9月の日程は 水曜日です
3日、10日、24日



那覇市
タイエットウォーク参加者

今回はタイエットウォークと氣功のサークルの紹介をします。この「はいさい」紙にも毎月お知らせが載っているタイエットウォークと氣功のサークルです。第3水曜日を除く毎週水曜日に開かれます。場所は別館のリハビリ室です。内容はウォーキングとストレッチスクワット等が30分と氣功が1時間でかなりの汗をかくことができます。参加は自由で、職員、患者、近隣の知人等口コミにより、15人前後が集まります。先生は糸満協同診療所の上原先生がボランティアで氣功の指導をしてくださいます。

時間があっても一人ではなかなか運動はしづらいですが、ここにくれば気軽に皆と一緒に汗をかくことができます。氣功の効果とは心身のリラックスにある。中国語では体のリラックスのことを「放鬆」(ほうしょう)、心の安定した状態を「入静」(にゅうせい)と言っていて、両者を合わせた「鬆静」(しゅうせい)状態が氣功を行う時の基本となっています。心身が安定してゆるんでいる状態で、動作、呼吸イメージを用いて、総合的に心身の自己コントロールを行うのが、氣功の特徴であると言われていま

す。どれだけタイエットになるかはあなた次第となります。

「あなたは今、
メタボが気になって
いませんか」